

ご卒業おめでとうございます



卒業式の風景(有明コロシアム)

四年間の感謝と
充実感の卒業式
夢を追い続けた日々の努力に拍手!!

幼児教育学科新聞

ようきょう

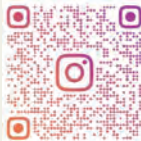
号外

武蔵野大学
教育学部
幼児教育学科

幼児教育学科HP



幼児教育学科
Instagram



「育てられる人」から

「育てる人」へ

令和7年3月13日、武蔵野大学の卒業式が有明コロシアムで挙行政され、武蔵野大学教育学部幼児教育学科で学んだ学生たちも、「育てられる人」から「育てる人」となって、無事に巣立っていききました。

入学時は新型コロナウイルス感染症が流行し、未来が見えない中、手探りでスタートした大学生活でした。それでも、幼児教育学科の卒業生からは、4年間を振り返り、「子どものことを考えて行動ができる人たちが揃っているため皆優しい」「同じ目標に向かってる仲間と学べる環境であるためモチベーションを高くもちながら学ぶことができた」「同じ授業を取る人が多いからこそ大学とは思えない絆が幼児教育学科にはあった気がします。同じ夢をもつ人達が集まるのはいいなと思いました。」など、共に学んだ仲間への感謝と充実感あふれる言葉が寄せられました。

この号外では、卒業生たちの「ことば」にクローズアップして武蔵野大学教育学部幼児教育学科の魅力に迫ります!

これから進路を選択する読者のみなさんは自分自身の未来を想像しながら卒業生の「ことば」に触れてみてください。



社会での活躍を誓いあって
幼児教育学科の卒業式後の集合写真

武蔵野大学 響学開発センターが実施した
全学科アンケート最新版にみる
幼児教育学科5つのポイント
(令和5年度学生生活実態調査より)

★1 高い使命感が育つ学び

Q 自ら一人ひとりの幸せ、世界の幸せのために行動できるようになった?

A そう思う割合(とてもそう思う+ややそう思う) 85%

幼児教育学科での学びは、保育者を目指す中で、人思いやる心や温かなまなざしが身につきます。社会に出るために必要な力が育つ学科です。(この項目は、全21学科中、第1位でした。)

★2 専門知識と技能に、自信がもてる

Q 自ら積極的に専門分野の知識や技能の体系的な修得を行い他者に説明できるようになった?

A そう思う割合(とてもそう思う+ややそう思う) 85%

知識を身につけるだけでなく、その知識を活かす力を育てることを幼児教育学科では目指しています。そのため、1年次の入門ゼミから一貫してアカデミックスキルの向上に取り組みます。また、技能を修得する科目では、特別授業などを実施し経験を通して学ぶ場を設けています。このような充実した学びの積み上げにより、確かな知識と技能の修得を実感できる学科です。

★3 先生との出会いが成長のきっかけに

Q 大学であなたの内面に良い影響を与えてくれた先生との出会いはどのくらいありましたか?

A あった割合(多くあった+少しあった) 94%

教員が学生一人一人の成長を全力でバックアップします。自分の成長をしつかり実感して卒業できる学科です。

★4 一生の友達ができる場所

Q 大学で卒業後も交友が続くような良い友人はできましたか?

A できた割合(多くできた+できた) 92%

共に学び、実習や行事を乗り越える中で、深い絆が生まれます。卒業後にも支え合い伸ばし合える仲間ができる学科です。(この項目は、全21学科中、第4位でした。)

★5 希望の就職先に進む

Q 就職先(内定先)に満足していますか?

A 満足している割合(とても満足+やや満足) 91%

保育士・保育教諭・幼稚園教諭・福祉職・小学校教諭などの専門職として就職できる幼児教育学科では、実習や就職支援も充実しているため、安心して将来を描けます。「育てられる人」から「育てる人」になって巣立っていくことができる学科です。(この項目は全21学科中、第3位でした。)

充実した就職支援

幼児教育学科では、1年次から就職ガイダンスや外部講師による講座など、進路を考える機会が豊富にあります。総合大学のメリットを生かしたキャリア支援課による支援と、現場で働く卒業生のネットワークを活用した学科独自の支援が連携し、「先生」と呼ばれる日に向けて全力で応援しています。
(野島正剛)

コラム

武蔵野大学教育学部卒業生とつながり続ける学科を目指して

幼児教育学科では、毎年夏に卒業生の学びの場と地域貢献を目的として、リカレント企画を実施しています。ホームカミングデーとして多くの卒業生がこの武蔵野キャンパスに戻ってきてくれることを楽しみに毎年実施しています。つながり続けることで卒業生の学び続ける意志と意欲を支えています。

クローズアップ 「ことば」

私はこの4年間で多くの出会いや、多くの学びを得てとても成長できたと感じています。もう一度タイムスリップして受験生となったら、必ずまた、武蔵野大学に入学したいです。

武蔵野大学大好きです!

(この誌面太字は令和6年度 卒業生のことばより)

curriculum

卒業生のことば 1
理論と実践を往還的に
学ぶ幼児教育学科

幼児教育についての専門的な知識を学び、実際の保育現場で実習をすることができ、学びが多い。

【解説】

幼児教育学科では、知識を得るための学びにとどまらずに、得た知識を実践の場でどのように活用するのか、トライ＆エラーを繰り返しながら経験や学びを整理し、身につけることができます。また、「学ぶ」「広げる」「深める」科目構成になっており、学内に限らず、地域や海外にも学びの場を広げるとともに研修、ゼミナール、インターシップなどによりさらに深めることができます。

保育士資格と幼稚園教諭免許に加え、オプションとして小学校教諭免許が取得できることも、特筆すべき点です。



保育・教育海外研修(ニュージーランド)

feature

卒業生のことば 4
幼児教育学科の特徴

実習の充実さ！やはり机上だけでは学べないことを実習ではたくさん学び吸収することができました。実習指導もしっかりあるのでたくさん準備をして挑めました。

【解説】

本格的な実習が開始する前の1年次後期に実習基礎1、2年次前期に実習基礎2があります。キャンパス内に武蔵野大学附属幼稚園があり、1年次から子どもとの関わりを通して実践と理論を往還的に学ぶことができます。

基礎から発展的な授業まで4年間で履修することが出来とてもよかったです！特に子育て支援室の授業では、実習では実践がなかなか難しい保護者の方とのコミュニケーションを学ぶことができて、とても学びになりました！

【解説】

1年次から3年次の学びを基盤として4年次に学びを深めることができます。

子育て支援室は、4号館2階にあり、参加する親子と触れ合うことができます。



子育て支援室

environment

卒業生のことば 2
4年間学ぶ環境
武蔵野キャンパス

- ・自分で学習する時間を作る環境が多くあった。
- ・自然豊かな武蔵野キャンパスでの講義により、自然物についても幼児教育の視点から学ぶことができた。
- ・自然豊かな点も魅力だと思います。自然と触れ合う中で子どもたちが遊ぶ環境に親しんだり、新しい発見をしたりすることができたと感じています。
- ・附属の幼稚園があり子ども達が常に身近にいる環境が素敵だと思いました。

【解説】

ピアノの練習場所や表現活動をするための教材が整っていることをはじめとして、四季折々の表情を見せてくれる風景とそこに響く子どもたちの声、幼児教育学科の学生には、武蔵野キャンパスは最適の環境と言えます。



保育内容(表現)の授業「earth art」

コラム

子育て支援室から

地域の乳幼児親子の「なないろひろば」やワークショップ等を学生が企画運営するプロジェクト型の学びの場です。「支援してあげる」でなく、子ども、保護者、学生が「ともに育ち合う」活動を通して、子ども・保護者・保育者の三者を大事にする「保育実践力」を伸ばします。(義永睦子)



学生主催の地域親子との交流イベント



附属幼稚園での楽器ワークショップ

幼児教育の入門部分からそれぞれの分野の専門的な知識まで4年間を通して幅広く深く学ぶことができます。

【解説】

教育学部では、入門ゼミ(1年次)、基礎ゼミ(2年次)、発展ゼミ(3年次)、総合ゼミ(4年次)と学びの積み上げを大切にしています。特に3・4年次のゼミナールは、幼児教育学科の10名の教員の専門領域からより深く学びたい領域を選択することができ、ゼミナールごとに学外活動なども積極的に取り組んでいます。卒業研究や卒業制作にも取り組み、毎年1月に実施する幼児教育学研究発表会で研究題目ごとに発表します。

study

卒業生のことば 3
幼児教育学科での学び

- ・身体表現や音楽表現など普段しなさないような面白い授業もあり、色々な経験ができます。
- ・多彩になれる！ってほどたくさんの方の技術を磨く場所があります。
- ・人の心と向き合い育むことを実践的に学べます。他者理解はもちろん、自己理解も深まると感じています。

【解説】

幼児教育学科には本学独自の科目も多くあります。特色ある学びは、学科パンフレットで紹介しています。

皆さんの「学びたい！」がきっとあります。ぜひご覧ください。

身体表現について

領域「表現」の指導法には音楽表現・造形表現・身体表現があります。「身体表現」は動きで遊んだり、人や物になりきったり、音や音楽に合わせてステップを踏んだりします。子どもたちと活動する前に、私たち大人もやってみることが大切です。その経験が子どもの動きを見逃さないことや、子どもの表現に共感することに繋がります。(川上暁子)

(この誌面大字は令和6年度卒業生のことばより)

コラム

実習が多く、先輩から実際に体験したり保育中の出来事についての話を聞くことができたので実習前の不安が減ることや実習中に活かすことができました。

【解説】

各実習を終えた上級生が、次年度に実習をする下級生に向けて実習報告会を実施します。上級生は実習に臨む後輩のために、経験や学びをまとめた報告会用のポスターを作成します。先輩の経験から学ぶ場があることにより、実習の事前指導開始前に具体的な準備ができます。

幼稚園実習後の報告会には、次年度に実習をする3年生とともに、1年生も参加し、4年生から学びます。こうして、先輩から後輩へと学ぶ姿勢が引き継がれています。



実習報告会(幼稚園実習)

コラム

学科長から

武蔵野大学教育学部幼児教育学科は、子どもたちのしあわせとは何か、そのために何ができるのかを考えることを大切にしています。それが答えが見つからない旅のようなものだとしても、子どもや保育について学び、子どもの世界に触れ、浸り、感じる中で、この世界の豊かさや喜びを見つけてもらえたらと思っています。(箕輪潤子)